

言　　提

思い出を胸に
きざんで

厳しい寒さも終わり、頬をなでるような風が通り過ぎていく今日のごろ。三年生の皆さんも、もう御卒業ですね。

桜色に染まった刈高の門をくぐってはや三年。「質実剛健」――刈高の理想を求めて、常に努力を怠らなかつた皆さん。この三年間で培つた忍耐力、そして、強い精神力で、どんな困難も乗り越えて、一步一步確実に前進して下さい。

「あるべき姿」は、真（人間存在）の意義、善（人間存在の機能）美（人間存在のよさ）を探究することによって聖（人間存在の目的）に到達しようとする自律的・求心的な力であります。

・心ひとつの人間の内面において、この二つの力の均衡が保たれる時自立的な「あり得る姿」が現われるのであります。いつでも「あるべき姿」を求めて、日々人格の高揚に努められることを望んでいます。

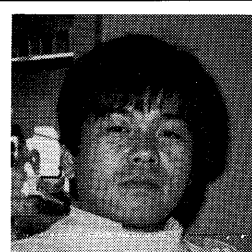
私には、読書を語る資格はないが、青年の頃の思い出の一端を紹介して、卒業生の皆さんの参考に供したいと思う。中学二年生の時父の書棚から倉田百三の「出家とその弟子」をひっぱり出して読み

現代世界の国際動向は、急激な変革の様相を深めつつあります。その中で日本は各国から、主導的役割とそれに匹合った責任ある行動を求められています。大きな経済力を持つに至った日本は、日本人の好むと好まざるにかかわらず、国際政治機構の重要な要素と

諸君の学業はこれで終るわけではない。卒業というのは「基礎的学業をおえた」という意味なのである。

ころ、図らずも僕は
でいたころの自分を
まった。

きつと誰もがそつ



のお宅訪問

風が吹き
あのかびしく大きな風が吹き
いつか幼い雲たちは逃げてしまつた
ただ苦しいだけの追憶をのこして
白い炎暑
静かな弦楽
底のない成層圏……
困難な風土の中で僕は知り始めている
もう小さな神話の時代をなつかしむのはよそう
今は

僕がひとりであるということだけが正しい

風が吹き

あのきびしく大きな風が吹き

僕はひとつの海を目指している

― 谷川俊太郎

「先生は子供達に自分にならないもの、自分が経験できなかった何かを学ぶことが欲しと願っているそうだ。まあ健やかな体が大丈夫である事が第一条にあるからだ。このうえ望むものは、他人をよく理解する、人のたすけとなる事を進んで出来る、人に愛される事をつかなくない素直な心を持った人」というのが先生の気持ちでそのころの親の責任であると語っていた。」

大島先生がなぜ教師という職業につかれたかというと、先生は大層子供に接しようとして、努力されたのだ。善惡の分別をつけさせるのが親の責任であると語った。

子供に接しようとして、努力されたい。善惡の分別をつけさせたい。というのが親の責任であると語って、近所の子供の勉強を教え

ていた。そうしているうちに強を教える事が好きになった。それに壊れた電気製品のものも好きだったので、教師が電氣屋になるか迷った。そして、高校時代より英語になり、大学も英語のコースにした。自分が身につけた物が役立とう、教師を選んだ。そして学校の教師の試験を受け、現任しているのだ。先生は、思った通りに教師をやってみようと思った事や、生徒に伝えたいと思つて、学校の先生としてもきて、学校の先生としても教育熱心であるが一家の主目にも真面目な人に感じていた。

男女関係十六
である。

又さらにごまかくいえば
男子一学業不振、女子一精
である。

十二月二十四日(金)朝

「**刺風高**」

の面用紙がまっ黒になってしま うのが 様お許し下さい！	用紙を破りすてました。 自殺―自ら命を断つこと。 自殺―最初はポケット一杯の夢 れでも最初はポケット一杯の夢 らびた心をつたにいつのまにか のである。『そう』いくつかの 折をくり返すうちに……そうし	自分の夢を失い、失望し、自分 見失った結果が自殺である。だ にも一度は考えたことのあるこ である。『さて』自殺の動機につ	学校問題二七・七 つていた。	もならないところがある。 悲しいことに我々もこの大 組みの中のたいへん小さな のである……	一般に世間の人々は自習 よりも生きることの方がは いることだというが、はたし うだろか？ 記者は自殺を うではないが、自殺を 方が数倍も勇氣がいること う。だからこの勇氣を生き	の方にぶつけてみてはどう これは記者の無責任な言 この題材で原稿をかいいて にこんな気持ちでだんだん	つていくのである。
--	--	---	---------------------------	--	---	---	------------------

回想録

五十八年度

- 4・10 統一地方選挙、東京、大阪など十三道府県知事選と十四道府県議員指定都市市長、議員選
- 4・12 茨城県武者塚一墳場で発掘の人物で古代男子のミイラ 結い実証
- 4・28 遠足(三年生)
- 5・2・6 球技大会
- 5・26 日本海中部地震、秋田県沖でM7・7の大地震。津波で秋田、青森、北海道で死者一〇四人
- 5・28 主要先進国首脳会議に中曽根首相出席
- 6・13 戸塚ヨットスクール事件、訓練生を死亡させるなどの事件で校長戸塚宏ら逮捕
- 6・16 アンドロポフソ連書記長、最高会議幹部会議長(元首)に
- 7・15 免田事件の再審で免田栄祐に無罪判決
- 7・16 エチオピア軍、ソマリ入侵
- 8・1 全国高校総合体育大会開幕。刈高水球部が出場
- 8・9 赤外線天文衛星が銀河系に第2の太陽系確認
- 9・1 大韓航空機撃墜
- 9・4 南レバノン占領イスラエル軍撤収
- 9・21・22、24 刈高祭
- 10・3 三宅島噴火。噴火は21年ぶり。被害総額255億円
- 10・9 イ・イ戦争
- 10・12 ロッキード事件。東京地裁は受託賄罪で田中角栄元首相に懲役4年、追徴金5億円
- 10・25 米軍、グレナダに奇襲
- 11・9 レーガン大統領来日
- 11・20 東京国際女子マラソンで佐々木七恵が優勝。日本選手二十七人けが
- 11・22 静岡県掛川市のレクリエーション施設「つま恋」でアロパングスが爆発十四人死亡、二十七人けが
- 11・26 軍縮交渉中断
- 12・6 ECサミット、経済、政治の両面で合意せず決裂
- 12・8 文部省が高校入試改善で偏差値重視の進路指導是正を通過
- 1・14・15 全国共通一次試験
- 2・4 予餞会
- 3・1 卒業式

五十九年度

- 4・25 両親を金属バットで殴殺した一柳徹也被告に懲役十三年の判決
- 5・8・11 球技大会
- 5・10 グリコ・森永犯が「かい人21面相」と名乗りグリコ製品に青酸混入の脅迫状
- 6・1 千葉大女医殺人事件で夫の藤田正被告に懲役十三年の判決
- 7・13 16・17 水泳大会
- 7・28 ロサンゼルス五輪。金メダル十個を獲得
- 9・4 京都、大阪連続強盗殺人事件
- 9・14 長野県西部地震M6・8の大地震。王滝村で土砂崩れが発生二十九人が死亡、行方不明
- 9・27・29 刈高祭
- 10・7・22 「毒入り」と表示した青酸入りの森永製品が大阪、名古屋、京都、兵庫、東京で見つかる。
- 10・18 国鉄、東海道、山陽新幹線に六十二年をめぐに、河新駅(安城市)など五駅新設を決定。
- 10・25 オーストラリアからコアラが名古屋、東京、鹿児島動物園へ
- 10・31 ガンジー首相、警護員に銃撃されて死去
- 11・1 一万円福沢諭吉、五千円新渡戸稲造、千円夏目漱石の肖像による新しい日本銀行券発行
- 11・2 大阪市で高一男子の惨殺死体発見。同級生二人が「いじめられた仕返し」と自供
- 11・6 米大統領選挙でレーガン大統領がモンデル候補に圧勝、再選
- 11・14 21面相、丸大食品・ハウス食品にも一億円の要求
- 11・17 サッカー県大会決勝。刈高、見事に優勝
- 11・30 キャプテン実用サビー2開始
- 12・14 東京都大田区の多摩川で解体作業中の旧六郷橋の橋げたが崩れ落ち十八人が死傷
- 1・2・8 サッカー全国大会。刈高2回戦で前橋商に惜敗
- 1・26・27 全国共通一次試験
- 2・2 持久走大会
- 2・15 予餞会
- 3・1 卒業式
- 5・2 遠足(三年生)
- 5・15・18 球技大会
- 5・17 北海道支張市の三菱石炭鉱業兩大多強鉱でガス爆発。死者六十二人、重軽傷二十四人
- 5・17 男女雇用機会均等法が衆院で可決、成立。施行は61年4月
- 5・29 ベルギー・ブリュッセルのサッカー欧州カップ決勝戦で英・伊のフランクが衝突三十八人死に、負傷者数十人
- 6・15 兵庫県警が詐欺まがい商法の豊田商事を捜査。18日永野一男会長刺殺される。21日大阪地裁が被害者による破産申し立てを受理し財産仮差し押さえ

六十年

- 8・12 羽田発大阪行き日航ジャンボ機が群馬県の御巣鷹山に墜落炎上。13日奇跡的に生きのびた四人を収容。残る五百二十人は死亡
- 9・1 道路交通法改正によりドライバードにシートベルト着用が義務づけられる
- 9・4 ユニバード神戸大会は、女子マラソンで深尾真実が優勝、日本勢は金六個、銀三個、銅七個を獲得
- 9・11 警視庁がロス疑惑の一美さん殺打事件で三浦和義と矢沢美智子を殺人未遂容疑で逮捕。12月25日東京地裁の公判で矢沢被告に懲役三年を求刑
- 9・26・28 刈高祭
- 10・1 国勢調査が全国一斉に実施される
- 10・11 本年度ノーベル賞は、「核戦争防止国際医師の会」と個人七氏が受賞
- 10・16 テレビ朝日がアフタヌーンショーで放映したやらせリベンジ事件で、警視庁は担当ディレクター中川勉を逮捕
- 12・2 プロ野球日本シリーズは阪神が四勝二敗で西部を破り、初の日本一
- 11・14 体操の具志堅幸司選手が引退を表明「思い出はロス五輪王座」と語る
- 11・18・20 サカハン大会
- 11・19 レーガン米大統領、ゴルバチョフソ連書記長がジュネーブで会談「核不戦の誓い」21日共同声明を発表
- 12・26 警視庁が六十年(一一)十一月の少年非行概要を発表。いじめによる事件は昨年を上回り自殺者は九人
- 1・25・26 全国共通一次試験
- 2・1 持久走大会(一・二年生)
- 2・15 予餞会
- 3・1 卒業式